

名村造船所グループ※の事業基盤強化計画(抜粋)

※(株)名村造船所、佐世保重工業(株)、函館どつく(株)

企業概要

- (株)名村造船所は1911年創業。主に大型ばら積み船、大型タンカー、中型LPG船等を建造。2007年9月に函館どつく(株)を、2014年10月に佐世保重工業(株)をそれぞれ子会社化、グループで新造船・修繕船・鉄構機械の3事業を展開。
- 経営資源の「選択と集中」によるグループ全体の事業再構築に着手。中核事業である新造船事業を強化し、佐世保重工業(株)では修繕船事業に特化の方針。



計画の概要

以下を通じ、グループ全体で生産性を向上させ、収益の安定性を強化する。

- **新造船事業:** デジタル技術を活用した造船所のスマートファクトリー化等を通じて、設計・調達・建造のコストダウン及び品質の向上を図るとともに、
 - 自社開発によるLNG燃料ばら積み船・タンカー、三菱造船(株)との連携によるLPG燃料大型LPG運搬船、アンモニア燃料大型アンモニア運搬船(名村)、
 - 最新鋭の低燃費ハンディ・バルカー、内航フェリー/Ro-Ro船(函館)といった環境対応型の船舶を開発・建造するほか、更なる低・脱炭素化や自動運航船に向けた研究開発にも積極的に取り組む。
- **修繕船事業:** 立地の優位性と合わせ、多種多様な設備を高度化し、引き続き艦艇修繕と今後ニーズが高まる巡視船、米艦艇、LNG船、フェリー等を新たに対象として、修繕船事業のラインナップを強化する。(佐世保)
- **事業の構造の変更:** 佐世保重工業及び函館どつくの財務内容の改善を通じ、その事業基盤の強化を図ることを目的として、名村造船所の支援により、佐世保重工業及び函館どつくの債務の株式化(デッド・エクイティ・スワップ)を実施する。



大型アンモニア運搬船(イメージ)

<計画実施期間> 2021年11月~2025年3月

<実施場所>

	新造船事業	修繕船事業
	(株)名村造船所 伊万里事業所 (佐賀県伊万里市)	佐世保重工業(株) 佐世保造船所 (長崎県佐世保市)
	函館どつく(株) 函館造船所 (北海道函館市)	函館どつく(株) 室蘭製作所 (北海道室蘭市)